

企画展示（観賞温室第2室）

- 11月13日(日)まで  
「宮沢賢治と吉田千秋 二人の植物学」
- 11月16日(水)～12月26日(月)  
「クリスマス展」

住宅内展示（観賞温室第3室）

- 10月16日(日)まで  
「ハワイアンキルト作品展」  
出展：伊藤真里子ハワイアンキルト教室
- 10月18日(火)～11月6日(日)  
「植物園に集うアーティスト展」
- 11月8日(火)～11月20日(日)  
「ハーブクラフトアラカルト」  
出展：ジャパンハーブソサエティ新潟支部
- 11月22日(火)～12月4日(日)  
「折紙展」  
出展：日本折紙協会新潟支部「はまなす」
- 12月6日(火)～12月26日(月)  
「クリスマスドライフラワー展」  
出展：フラワースクールはな舞

特別展示

- 10月4日(火)～10月30日(日)  
「大文字草展」  
会場：観賞温室第3室2階
- 10月8日(土)・9日(日)  
「新潟のきのこの世界」  
新潟きのこ同好会・県立植物園共催  
会場：花と緑の情報センター(入場無料エリア)
- 10月29日(土)・30日(日)  
「秋のいけばな展」  
新潟華道連盟・県立植物園共催  
会場：花と緑の情報センター(入場無料エリア)

温室入館無料デー●12月4日(日)

当園は12月で開園13周年を迎えます。  
皆様からの日頃のご愛顧に感謝し、  
この日に限り温室入館料を全員無料といたします。

クリスマス開館時間延長

●12月23日(金)・24日(土)・25日(日)  
19:30まで温室の開館時間を延長します。(最終入館19:00)

新春開館

新年は1月2日(祝・月)9:30から開館します。

花と緑の教室

会場(または集合場所)：花と緑の情報センター

※要申込(開催日の1カ月前から)

- 10月7日(金)11:30～13:30  
「植物と食文化講座 第2回『在来野菜』長岡の野菜」  
講師：木村正晃(野菜ソムリエ)・倉重祐二(植物園副園長、「趣味の園芸」講師)  
参加費：1,500円(ランチ付) 申込受付期間：9月30日(金)まで
- 10月10日(祝・月)10:00～12:00「吉田千秋と植物」  
講師：倉重祐二(植物園副園長) 参加費：要入館料
- 10月13日(木)10:00～11:30「植物園花散歩⑥」  
講師：田中良明(植物園スタッフ、樹木医) 参加費：無料
- 10月16日(日)10:00～11:30「ダイヤモンドソウの寄せ植え」  
講師：倉重祐二(植物園副園長)・永井明子(植物園スタッフ) 参加費：1,000円
- 10月22日(土)10:00～11:30「秋の寄せ植え」  
講師：林寛子(植物園スタッフ) 参加費：1,500円
- 10月23日(日)10:00～11:30「スワッグ®をつくろう」  
※スワッグ…縦長や三日月形のリース  
講師：榎舎道子(Plink&Plonk) 参加費：800円
- 11月5日(土)10:00～11:30「植物園花散歩⑦」  
講師：倉重祐二(植物園副園長) 参加費：無料
- 11月17日(木)10:00～11:30「植物園花散歩⑧」  
講師：倉重祐二(植物園副園長) 参加費：無料
- 11月20日(日)10:00～11:30「冬の植物の楽しみ方」  
講師：石川昇(グリーンプラザフランス) 参加費：無料
- 12月11日(日)①10:00～11:30 ②13:30～15:00  
「クリスマスの寄せ植え」  
講師：永井明子・林寛子(植物園スタッフ) 参加費：1,500円
- 12月18日(日)10:00～11:30「ミニ門松」  
講師：田中良明(植物園スタッフ) 参加費：800円

熱帯植物ガイドツアー

案内員が熱帯植物ドームの植物をわかりやすくご説明します。解説付きの見学は満足度倍増!ツアーに参加された方には記念写真プレゼントもあります。

- ①10:40～ ②14:40～  
(土・日・祝日は13:40からも実施)  
当日温室発券カウンターにて受付・定員制

花と緑の相談コーナー

専門相談員がわかりやすくお答えします。来園のほか電話、FAX、電子メールでもお気軽にお問い合わせ下さい。

専用ダイヤル 0250-24-6437  
受付日：水曜・日曜 10:30～15:00

●観賞温室利用案内

開館／9:30～16:30(入館締切16:00)

入館料／大人600円、シルバー(65歳以上)500円、高校生・学生300円(要学生証提示)、小中学生100円

※土日祝日は小中学生の入館料無料

●観賞温室開館カレンダー(●休館日 ■夜間開園)

10							11							12											
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
・	・	・	・	・	・	1	1	2	3	4	5	・	・	・	・	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10					
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17					
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24					
25	26	27	28	29	・	・	27	28	29	30	・	・	25	26	27	28	29	30	31						

※新年は1月2日から開館します。

●交通アクセス ※駐車場無料(350台収容)

高速道路／磐越自動車道新潟ICから国道403号三条・加茂方面へ約15分

一般道路／(新潟方面から)国道49号茅野山ICから国道403号経由約20分

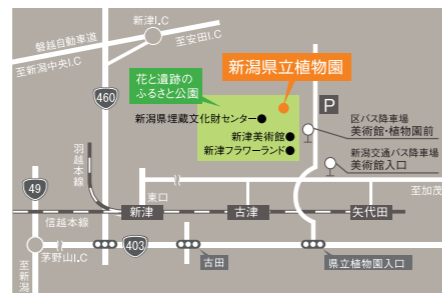
J R / 信越線古津駅から徒歩約20分

バス / 区バス：新潟駅東口から「うららこすど」行き

「美術館・植物園前」下車徒歩約1分

新潟交通：新潟駅東口から「矢代田」経由白根・湯東営業所」行き

「新津美術館入口」下車徒歩約10分



新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地  
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410  
Eメール botanical@greenery-niigata.or.jp  
ホームページ http://botanical.greenery-niigata.or.jp/  
指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ



登録範囲は、事務局、鳥屋野湯スポーツ公園事務所(園地・スタジアム)、業農寺記念公園事務所、植物園です。



新潟県立植物園

植物園だより



ヒシ  
*Trapa japonica*

北海道から九州の池や沼に群生するヒシ科の水生一年草。葉を放射状に広げ、葉柄の内部がスポンジ状に膨らんで浮き袋となる。

一見すると浮き草のようにも見えるが、茎が池の底まで続いている。

花は、葉腋から出た柄の先につき7月～10月に開花する。両性花で、幅約1cm。4片の白くやや縮れた花卉の清楚な花である。

繁殖力は種子により、非常に旺盛で、植物園の池にも水面を覆い尽くさんばかりに繁茂している。(田中良明)

荒川町産 S.55.7.18 富樫信平画



企画展示

## クリスマス展

平成23年  
11|16(水)–12|26(月)

今年のクリスマスは、「花と光のグラデーション」がテーマ。

ポインセチアやシクラメン、クリスマスを演出する植物がよりいっそう輝いて見えるように、スタンドグラスをはじめんだオブジェや祭壇、5mを超えるツリーを中心にしたクリスマスの庭などを設えます。これらを彩るのは温室に射しこむ自然の光やスタンドグラスを通した光。また、イルミネーションや照明を効果的につかい、光と色にあふれた展示をご覧いただけます。

また、クリスマスシーズンにあわせて、熱帯植物ドームや園地にもクリスマス装飾を行います。恒例の熱帯植物ドーム「ジャングルイルミネーション」では、熱帯の木々が電飾をまといまします。さらには、園地に新潟県で一番高い屋外ツリーが登場する予定です。

12月23日から25日には開館時間を延長。温室ごと輝く光が池に映しこまれる、幻想的な夜の植物園の景色をお楽しみいただけます。

寒い中でも楽しめる、心温まる植物園のクリスマスにぜひお越しください。



華やかなアザレア



新潟県作出品種「越の舞姫」

## アザレア展

平成24年  
1|2(月)–2|5(日)

新潟の年明けを華やかに飾る展示としてのアザレア展も今年で3年目をむかえます。足元が悪く、出かけることも億劫になる季節ですが、観賞温室の中は屋外とは違って変わった華やかな風景が広がり、毎年楽しみにしている多くの方からお越しいただいております。

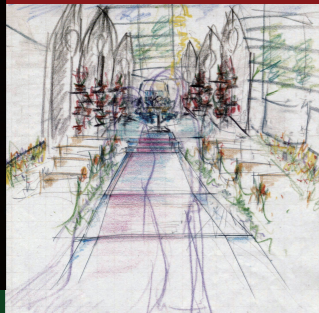
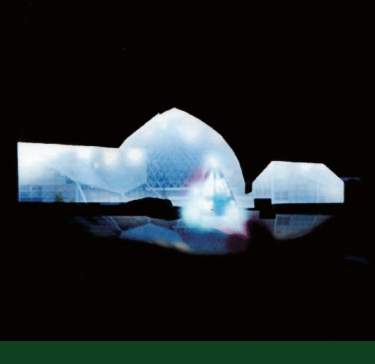
新潟はアザレアの国内最大の生産地で、新しい品種もつくりだされており、花の形も一重、八重、花色も赤、桃、白、絞りが入ったりとバラエティーに富み、一堂に会したアザレアは見ごたえ十分です。また、古くから花卉生産が盛んな新潟市の花卉園芸の歴史をひもとき、アザレアについての様々な情報も知ることができます。

今年は、1月2日から温室を開館しますので、今までご覧になっていない方々にもぜひ新潟が誇るアザレアを堪能していただきたいと願っております。新潟の冬に「まさか」と思うような鮮やかな花色で、皆様をお待ちしております。

企画展示



今から80年ほど前に作り出されたエリ



園内  
ウォッチング

### 園地●秋の花と木

駐車場から観賞温室に向かってエントランスを歩くと、右側に小高くなった宿根草花壇があります。

本格的な秋を迎えるこの時期から、キク科のフジバカマやシオン、ユリ科のコルチカム、古い時代に中国から導入され、野生化したキンポウゲ科のシュウメイギク、ヒガンバナやその園芸品種が花を咲かせています。

樹木では、庭木に用いられるモクセイ科のキンモクセイが芳香を漂わせています。ブナ科のコナラ属やシイ属などの通称「どんぐりの木」も、実を散布する準備を整えています。このほかにも、さまざまな実や紅葉を園内で楽しむことができます。(田中良明)



フジバカマ *Eupatorium fortunei*



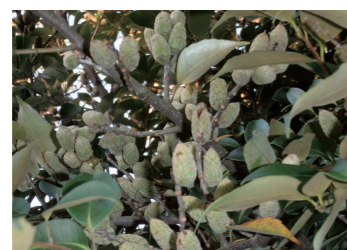
キンモクセイ *Osmanthus fragrans var. aurantiacus*



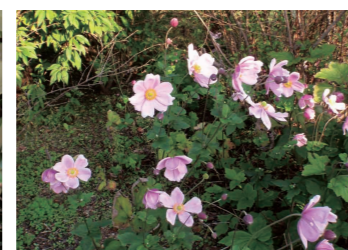
シオン *Aster tataricus*



ヒガンバナ *Lycoris radiata*



スダジイ *Castanopsis sieboldii*



シュウメイギク *Anemone hupehensis var. japonica*



コルチカム「ザ・ジャイアント」 *Colchicum 'The Giant'*

園内  
ウォッチング

### 温室●ドームで育つ植物の管理

植物園の熱帯植物ドームでは、様々な環境で育てている数多くの植物を見ることができます。同じ温室の中でこれらが一緒に植えられていますので、栽培管理にも工夫が必要となります。

例えば、乾季と雨季に分かれている地域に生えるパオバブは、乾季に当たる冬の間は水を切ります。また、サボテンは暑くて乾燥した地域の植物のため、湿度の高い温室に地植えすると弱ってしまうので、鉢植えにして水の管理をしています。

ヒカゲヘゴは、一年中雨が降っているような高温多湿の熱帯雨林に生えるシダ植物です。温室で12年間生長し続けたヒカゲヘゴは、今では熱帯ドームの天井につきそうですが、幹の先端からだけ葉が出ますので、途中で切ると枯れてしまいます。そこで、今は幹に傷をつけてミズゴケをまき、ビニールで密閉して取り木をしています。十分に根を出すために2年間その状態を保っています。

熱帯植物ドームの中に植えられている植物が、必ずしも最適ではない環境にありながらも精一杯生きているのを感じて観賞してもらえたらうれしいです。(赤塚祐佳里)



熱帯ドーム温室の天井に届いたタビビトノキ



ヒカゲヘゴ



取り木の部分

## NEWS 1

### 植物園日記の電子書籍を公開!

当園では、NHK出版の運営する「みんなの趣味の園芸」で植物園日記(ブログ)を公開しています。昨年8月から今年3月までの58回分をまとめ、「パパー」というサイトで8月24日に電子書籍を公開しました。オオオニバスやヒスイカズラなど植物園ならではの植物も取り上げ、観察したことを中心に取り上げていますので、新しい「へえ〜」や「ほお〜」が発見できると思います。皆様からいただいた質問やコメントも、各日の「後から長い一言」にまとめ、補足的な説明としています。

コンピューターのディスプレイはもちろん、iPadなどのタブレット型コンピューターでは本物の本を読んでいるような感じで閲覧できますし、目次からのジャンプやハイパーリンクの機能も追加しました。スマートフォンにダウンロードすれば、通勤や通学途中のちょっとした合い間にもお楽しみいただけます。

皆様のダウンロードをお待ちしております。

(倉重祐二)



「新潟県立植物園 みんなの趣味の園芸 植物園日記」  
ダウンロード <http://p.booklog.jp/book/32962>

「みんなの趣味の園芸 植物園日記(ブログ)」も更新中  
<http://www.shuminoengei.jp/?id=3078>



## NEWS 2

### 目からウロコ 植物ガイドツアー

温室スタッフがやっている植物ガイドツアーでは、一年を通して様々な植物を解説しています。

熱帯植物ドームには、約550種、4000株の植物があるだけに「不思議」や「発見」も盛りだくさんです。

みんなが大好きなバナナの不思議、ウツボカズラの捕虫の仕組み、大きな葉が印象的なオオオニバス、色鮮やかな熱帯の花々などなど。植物の名前の由来や生態、動物や人との関わり、栽培エピソードなど、様々な角度から植物の魅力を感じられます。

参加された方の感想には「実際に花や実に触ることができ香りも楽しめた」「植物がより身近なものに感じるようになった」「何度も来ていたがガイドツアーは初めてで楽しかった」という嬉しい言葉もたくさん。極めつけに「お姉さんの笑顔が素敵でした」なんて書かれたらますます張り切ってしまうスタッフ一同です。

希望者には記念写真の撮影サービスもあり、お帰りまでにプリントしてお渡ししています。

観賞の楽しさ倍増!ご友人やご家族と、もちろんお一人でのご参加も、スタッフ一同心よりお待ちしております。

今号より園内ウォッチングの温室コーナーを運営スタッフが担当します。ガイドツアーをしている私達だからこそ、実際にお客様から反響のあった植物などを取り上げ紹介したいと思います。どうぞお楽しみに。

(小柳裕美)



上:マガラアユミさんによる「春一番、にいがた花三昧。」のクイズスタンプラリーのスタンプ  
右:neziさんによる植物と食文化講座のチラシ

## NEWS 3

### 植物園に集うアーティスト展

平成23年10月18日(火)~11月6日(日)

観賞温室第3室住宅内展示スペース

住宅内展示スペースは、花や緑の関連する活動紹介や作品を展示することで、園芸や緑化、植物に親んでいただくための場所です。10月以降には、熱帯植物ドームにも植えられている熱帯植物をモチーフにしたハワイアンキルト展を皮切りに、ハーブクラフト展など10回の展示を行います。

10月18日からは植物園初の試みである複数の県内在住のアーティストによる、植物をモチーフや材料にした作品展を行います。「植物園日記」の電子書籍の表紙と毎月のイラストを型染めで描いた中山典子さん、レイアウトデザインを担当して下さったおっささん等、これまでにさまざまな形で植物園の活動にご協力いただいた方々の絵画、イラスト、あみぐるみ、ハンコ、フェルト、写真、切り絵等の作品が展示される予定です。若い感性による植物の姿をご覧ください。(倉重祐二)

#### 出展者

- 明子 ●おっさ ●kinoneko ●k-shihan ●菅原愛美
- つかさ ●中山典子 ●nezi ●伴子 ●雛屋 ●星野慎也
- マガラアユミ ●山崎えみこ ●羊毛フェルトmur mur



実をつけたコーヒーノキ

## NEWS 4

### 金津小学校の学習活動

#### 「守ろう! 残そう! 金津の自然」

植物園では、地元の金津小学校4年生の総合学習「守ろう! 残そう! 金津の自然」に協力しています。この授業は、4年生の全員が植物と人間の生活のかかわりを知り、地域の自然の大切さについて学ぶというもので、今年度1年かけて行っています。

6月に児童が植物園を訪れた際には、植物と私たちのかかわりについてのお話をしたあとに、熱帯植物ドームで、ふだん食べているバナナや、コーヒーノキの実物を観察しました。その後学校では、一人ひとりが自分の身の回りにあるものから植物でできているものを探し、それについて調べる学習を行いました。

このようにして、自分たちと植物との深いかかわりを知った上で、植物の今おかれている危機的な状況を知るというテーマで勉強をします。9月には世界の植物のおよそ4分の1が絶滅の危機に瀕しているという現状をお話し、なぜ植物が減っていくのかをみんなで考えました。児童は新潟でももうなくなってしまった植物があること、昔と今とで変わっていった自然の姿を見て、驚いていたようです。

これから、植物がなくなってしまったらどうなるかを考え、地域の自然のためにできることがあるか、現地を観察しながら学習を進めていく予定です。(林 寛子)



金津小学校での講義

## 新潟の植物

ワレモコウ  
*Sanguisorba officinalis*  
(バラ科)



日本各地に自生する多年草で、8月から10月ころまで次々と花をつけます。山野の草原や日当たりの良い場所を好みます。先端の穂に似たものは小さな花が集合した花序で、花は上から下にむかって咲き進みます。暗紅色の花弁のように見えるものは萼がくですので、散らずに長期間楽しむことができます。花にはかすかに香りがあるので、新鮮な花に鼻を近づけてみてください。

開発などにより自生する場所が減少し、新潟県では絶滅の危険が増大している種として絶滅危惧Ⅱ類に指定されています(レッドデータブックにいがた2001年版)。

子どもの頃に普通に見られた植物が徐々に減少し、見る機会が少なくなることは寂しいものです。(永井明子)



## 植物と食文化

あんんにご



杏仁あんじんとは、堅いアズノ種子(仁)のことで、漢方では「きょうにん」と呼ばれます。最近ではこれを用いた中国のお菓子、杏仁豆腐あんじんどうふの名が通っていますが、Wikipediaの杏仁の項には、『なお、「あんじん」という読み方は、南京や上海あたりのもので、明治以降に盛んになった支那料理(中国料理)で、ポピュラーになったものである。』とあります。しかし、江戸時代中期、宝暦に刊行された新潟の百科事典「越後名寄」(1756)をみると、「仁ヲ杏仁ト云(中略)仁ヲ葉トス」とありますので、新潟では「あんじん」と呼ばれていたようです。

新潟県の主に魚沼地方でつくられるウワミズザクラの若いつぼみを塩漬けにしたものをあんんにご(杏仁子)と呼びますが、これは花の香りが杏仁に似ていることから名づけられたようです。とてもしょっぱいのですが、ほんのりと桜のかおりがします。「日本植物方言集成」にはウワミズザクラを「あんんにご」(北魚沼)、「あんんにぐ」(新潟)と呼ぶとあるので、もともとは木自体が「あんんにご」と呼ばれ、つぼみの塩漬けに地方名が残ったのかもしれない。

古い資料がないのでいつから利用されていたのかは分かりませんが、昔から保存食として食べられていたのではないかと思います。(倉重祐二)



ウワミズザクラ  
*Prunus grayana*

バラ科サクラ属の落葉高木で、樹高は15~20m。日当たりのよい谷間や沢の斜面などに生育し、樹皮を傷つけるとクマリンの香りがする。花は葉の展開後の4~5月に開花し、長さ8~15cmの総状花序に白い花が多数密生してつく。近縁のイヌザクラ(*P. buergeriana*)には花序の下部に葉が付かない。



## 友の会通信

### 夏の観察会に行ってきました

恒例の植物観察会を8月20日、21日に行いました。

1日目は、魚沼市の荒沢岳。万年雪が見える遊歩道コースです。7月末の豪雨の影響で奥只見のダムへの道は閉鎖されており、現地に着いたところ、通行止めの表示が。管理の方に、通りにくいところはあるけど上のほうは大丈夫、との情報をいただき、歩きだしました。登り口までの道路は土砂の撤去作業中。橋が流されたり、遊歩道が削れたり豪雨のあとが見られるなか、石沢会長の説明を聞きながら歩きました。お昼過ぎには心配していた雨が降り出し、雨の中の昼食となりました。天候のおかげで、足もとも平常時にくらべると楽ではなく、近づけなかった植物もありましたが、万年雪から吹き下ろす涼しい風を感じながら、会員どうして知識を共有しながらの散策となりました。

山を下りて、宿泊地である苗場山の和田小屋に向かいます。こちらも雨。散策を断念して翌日に備えることにしました。

2日目は県境を越えて谷川岳へ。ときおり雨具が必要なお天気でしたが、植物の



実をつけたオクナフウリンウメドキ(荒沢岳)



花茎を伸ばしたフクオウソウ(谷川岳)

多さに参加者のみなさんは満足されていたようです。熱心に説明に耳を傾けていました。フクオウソウなど、もうすぐ開花なのにとタイミングを惜む声も。

お天気に恵まれないのも恒例?と言いたくなるようなあいにくの空模様でしたが、誰かが何かを見つけたときに「見ずには帰れない」と言わんばかりにあつまる熱心なみなさん。雨ならではの光景も楽しみつつ、2日間の行程を終えました。



万年雪(荒沢岳)



散策のようす(荒沢岳)



ブナの樹幹流(谷川岳)  
枝から幹を伝わり土壌に水をたくわえる「緑のダム」



集合写真(谷川岳)

## 新潟県立植物園 友の会 会員募集

友の会会員を随時募集しています。興味のある方は友の会事務局(新潟県立植物園 TEL.0250-24-6465)までお問い合わせ下さい。

年会費(4月より翌年3月まで)

●個人会員 2,000円 ●ファミリー会員 2,500円 ●賛助会員(一口) 10,000円

会員特典:植物園観賞温室の入館無料、植物園だよりなどの送付

新潟県立植物園 友の会ブログを開設しています。会の最新情報、会員のつぶやき、発見などをどんどん更新していきます。ぜひ、ご覧下さい。情報はE-mail:bgn.tomonokai@gmail.comまで、携帯電話からも投稿できます。

ブログURL [http://blogs.yahoo.co.jp/bgn\\_tomonokai](http://blogs.yahoo.co.jp/bgn_tomonokai)

賛助会員 くわし達は「新潟県立植物園 友の会」の活動を応援しています

●齋藤不動産 ●株式会社アート環境設計 ●株式会社アート